



## 平成29年度地域の魅力再発見食育推進事業 郷土料理と日本型食生活



講師：藤澤 祥子さん（和歌山信愛女子短期大学非常勤講師）  
9月16日（土） 10：30～ わかやま市民生協 E\*KAOホール

「食育」としての郷土料理だけではなく、歴史の中で育ってきた郷土料理の背景にある物語、郷土食にまつわる温かいお話と、これからの郷土食への想いをお話いただきました。和歌山県に伝わる沢山の郷土料理も紹介していただき、まさしく日本型食生活という原点に戻って、「和食」から食生活と健康を考えることを学びました。



## 平成29年度地域の魅力再発見食育推進事業 食品ロスを家庭から考えよう

講師：浅利 美鈴さん（京都大学大学院地球環境学堂准教授）  
2018年1月25日（木） 10：30～ わかやま市民生協 E\*KAOホール



ごみの基礎知識として、日本人1人が1日に出す一般廃棄物の平均量や、家庭ごみの内訳などのお話がありました。家庭ごみの内訳では、食料品の廃棄が一番多く、そのなかでも調理くずや食べ残しの廃棄が多いということでした。浅利さんは、賞味期限がきたから捨てるのではなく、消費期限と賞味期限の表示を正しく理解し、捨てる捨てないの判断をすることが大切だと教えてくださいました。最後には、京都が取り組みを進めている2R（リデュース、リユース）活動についてお話がありました。そもそもごみは出さない事、出たごみはきちんと分別してリサイクルなど、2Rをテーマにした様々な活動の紹介がありました。

## 県内一斉クリーンウォーク in 和歌山



協同組合の連携を強化し、地域への貢献を目的に県内125カ所で、県生協連、県漁連、県森連、JAグループ和歌山、JA女性会の会員、役職員3,200人が参加しました。和歌山城には約90人が参加、外周や城内道路沿いのゴミを回収しました。終了後には、4協同組合が持ち寄ったおにぎりとお茶が配られました。

## 役職員研修会

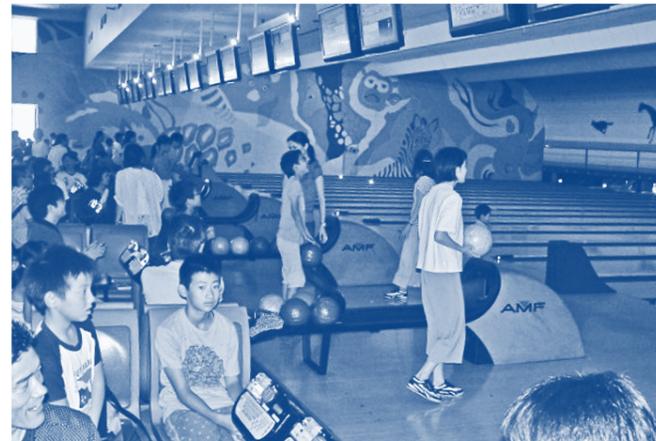


賀川記念館、阪神・淡路大震災の慰霊とモニュメント、人と防災未来センターを見学しました。

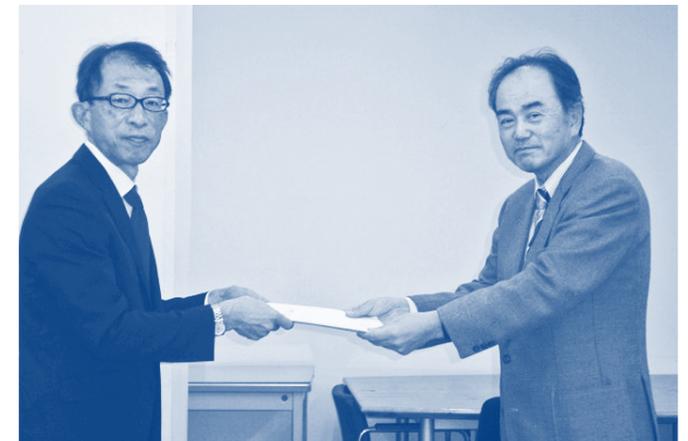


## 役職員交流会「ボウリング大会」

毎年恒例のボウリング大会。7つの会員生協から105人の役職員とその家族が参加。楽しい半日を過ごしました。美味しい昼食をいただき、賞品もたくさんありました。



## 2018年度和歌山県への要望書を提出、回答を頂きました



## 会員生協ボランティア活動を支援しました

会員生協のボランティア活動を以下の活動分野で支援し、会員生協をととして地域社会への貢献をより広げることを目的としています。今年度も、紀の国医療生活協同組合の「年末もちつき大会」とわかやま市民生活協同組合の居場所づくり「和・コープ」のとりくみに助成が決定しました。

### 《申請対象となる活動分野》

- 福祉**：身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者、難病・長期疾病者、高齢者などの社会生活を豊かにするなどの活動
- 環境**：自然保護、環境保全、リサイクル活動や環境保全に関する啓発などの活動
- 教育**：子どもの健全育成、子育て支援などの活動
- 国際交流**：留学生・研修生などの外国籍市民との交流、途上国への協力などの活動
- 災害**：災害支援活動



わかやま市民生活協同組合「和・コープ」